

配合飼料供給安定協議会上期全国会議概要

◆開催日時：平成 28 年 10 月 26 日（水）14：00～17：00

◆開始会場：中野サンプラザ 13 階「スカイルーム」

◆参集者

各ブロック代表者、専門委員、本社関係等会員、事務局（鈴木監事出席）

計 32 名（当日、追加出席者 1 名あり）

来賓として

農林水産省生産局畜産部飼料課流通飼料対策室課長補佐 石橋隆成氏

◆議題

(1) 各ブロック代表者による状況報告

(2) 講話「八戸飼料穀物コンビナート協議会について」

東北グレーンターミナル（株）代表取締役 佐藤 潮 氏

(3) 事務局による情報共有の在り方についての提案

(4) 出席者によるフリートーキング

(5) その他

◆各ブロック代表者による状況報告の概要

第 1 回ブロック会議について

- 1 協議会の目的として、不測等災害時に連携体制を構築して配合飼料を安定的に供給するとあるが、出先は本社の指示を受けて動くので、独自に連携をとることは難しい。また、有事の際は自社のことで精一杯で通信、インフラも充分でない状況で、他社のことができるか疑問である。
- 2 情報共有について、災害時は現場が大混乱している時に、あらゆる方面から被害状況の確認をする電話が入るが、大変迷惑をしている。被災して 2 週間くらい過ぎれば、被害状況も分かり、一日でも早い復興に向けて取り組む時期なので、その頃なら少しは対応ができる。他社の被害状況を得るのは難しい。

- 3 協議会が何を目指し、何を求めているのか、もっと具体的な説明がほしい。

第2回ブロック会議について

BCPの講習を受け、BCPの必要性はよく理解できた。個社のBCPを見直す必要があると感じたものの、個社のBCPから会社間のBCPにどのように拡大して行くか難しい課題だ。

◆ 講話「八戸飼料穀物コンビナート協議会について」

東北グレーンターミナル（株）代表取締役の佐藤潮氏より現在の活動等につき、資料に基づき説明をいただいた。

◆ 事務局による情報共有の在り方についての提案

情報共有について、本社関係の皆様のご協力を得て、共有できるもの等のアドバイスを頂いた。これを要約したものを提示した上で、議論を行った。

出席者からの意見

- ・災害時の情報の把握の仕方を共有できれば、価値がある。災害時は道路状況飼料不足等の情報がとれない。
- ・災害時に情報を集めることは苦痛である。しかし、横のつながりをきちんと作っておくと、スムーズにゆくのではないか。
- ・地域防災ありきで、港湾ごとに考えていくことが大事であるが、飼料メーカーのみでなく、コンビナート全体で一貫性をもって検討すべきではないか。
- ・被害を受けているところを援助していくことなので、その点の議論が抜けているように思える。